

デジタル技術の活用及び DX 推進の取組状況

2023 年 11 月 2 日

株式会社 Barrel

1. 経営の方向性及びデジタル技術等の活用の方向性

1-①. デジタル技術が社会や自社の競争環境に及ぼす影響について

コロナ禍を経て、物理的な接触を前提としたビジネスモデルから、デジタル技術等を活用したビジネスモデルの普及が社会全体で加速しております。当社が事業を展開する不動産業界は、DX が進んでいない業界といわれてきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うテレワークの普及などで、急速に DX が進むようになりました。このような変化の中で、益々デジタル技術の活用が不可欠となっており、デジタル技術に関する習熟や活用が自社の発展に必要不可欠と認識しています。

1-②. 経営ビジョンやビジネスモデル

上記の社会動向を踏まえ、当社の経営においても、積極的にデジタル技術等の活用を図り、新たなビジネスモデルを構築する必要があります。デジタル技術を用い提供するサービスの品質を向上させ、競合優位性を高めることで、新たなビジネスモデルの構築を目指します。新たなビジネスモデルを通じて事業の拡大に繋げ、社会のデジタル化の動向やニーズに合わせた事業展開を実現します。

2. 経営ビジョンやビジネスモデルの実現のための戦略

新たなビジネスモデルの構築のため、提供サービスの付加価値や生産性を向上させるための新業務システムの開発・導入を目指します。開発にあたっては、当社内の既存の業務フローの課題を解決することで、生産性向上や顧客利便性の向上に繋がる機能を実現します。

3. 戦略を推進するための実施体制

上記の戦略を効率的に進めるため、代表取締役の指揮のもと、システム責任者を中心に社内における DX 化に向けた取組を実施し、お客様のあらゆるニーズに確実に応えるサービスの提供を行ってまいります。